

レセプトおよび定期健康診断データを利用したがん罹患前後の慢性腎臓病（CKD）とリスク因子に関する調査

京都府立医科大学 内分泌・代謝内科では、パナソニック健康保険組合 松下記念病院、京都薬科大学との共同研究としてパナソニック社において健診を受診された方を対象に「レセプトおよび定期健康診断データを利用したがん罹患前後の慢性腎臓病（CKD）とリスク因子に関する調査」を実施いたします。

実施にあたり、パナソニック健康保険組合 松下記念病院、京都薬科大学、および京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

パナソニック健康保険組合の診療報酬明細書（レセプト）およびそれに紐づいた定期健康診断（健診）データを用いて、がんサバイバー（がんと共存し、がんを乗り越えて生きる人々）におけるがん罹患前後の慢性腎臓病発症の頻度について、非がんサバイバーと比較した上で、がんサバイバーにおける慢性腎臓病のリスク因子として医薬品、病態、並びに生活習慣の観点から調査します。がんサバイバーにおける慢性腎臓病発症予防に対する新たな臨床指標の開発や病態の理解を深め、医学の発展に寄与します。

研究の方法

対象となる方：2017年4月1日～2022年3月31日の間にパナソニック社において健診を受診された方が対象となります。癌に罹患された方800名、癌に罹患されなかった方800名。

研究期間： 医学倫理審査委員会承認日から2026年3月31日

情報の利用を開始する予定日： 利用開始日 2024年6月1日

方法

癌に罹患された方において、がん罹患日の年度をX年として、がん罹患1年前（X-1年）から2022年度データまでを調査対象とします（例：2019年度にがん罹患が発覚した場合は、2018年のデータから2022年度のデータまで取得します）。癌に罹患された方と比較する癌に罹患されなかった方のデータを抽出するために、慢性腎臓病に対して潜在的に影響をあたえている因子（例えば年齢や喫煙歴など）を用いて、二つの集団において同じような方をマッチングします（傾向スコアマッチングといいます）。

癌に罹患された方および罹患されなかった方のX-1年からX+3年までの腎臓の機能について調査し、癌に罹患された方と罹患されなかった方の年度ごとの慢性腎臓病発症頻度及び悪化頻度を比較します。さらに、癌に罹患された方と罹患されなかった方それぞれにおいて、慢性腎臓病発症群および非発症群に分類し、どのような因子がリスクとなっているかを調査します。

研究に用いる試料・情報について

健診で得られる情報、例えば年齢・性別等の基本情報、体重、血液・尿検査データ、問診データ等を研究に用います。診療報酬明細書データも研究に用います（癌に罹患されたかどうかの判断に使用しま

す)。

個人情報の取り扱いについて

血液・尿検査、問診情報などをこの研究に使用する際は、氏名、生年月日など、個人を直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。個人と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、個人が特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 内分泌・代謝内科学 教授 福井道明）の責任の下、厳重な管理を行い、個人情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

試料・情報の保存および二次利用について

本研究において得られたデータは京都府立医科大学内分泌・代謝内科学 教授 福井道明の責任の下、研究終了報告日から10年まで保管し、適切に廃棄します。

既に解析のために収集された仮名化データは二次研究に利用する可能性があるため、上記の保管期間を延長する可能性があります。なお、将来、研究に用いる場合は、改めて「パナソニック健康保険組合 松下記念病院、京都薬科大学、および京都府立医科大学医学倫理審査委員会」において承認を受けます。

研究組織

研究責任者：京都府立医科大学

内分泌・代謝内科学 教授 福井道明

研究担当者：京都府立医科大学

内分泌・代謝内科学 助教 岡田博史

共同研究機関： 京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 教授 村木優一

京都薬科大学 臨床薬学分野 講師 辻本雅之

京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 助教 冨瀬諒

パナソニック健康保険組合 松下記念病院 糖尿病・内分泌内科 部長 橋本善隆

パナソニック健康保険組合 松下記念病院 薬剤部 副部長/臨床研究管理室 室長 渡邊裕之

お問い合わせ先

参加してくださった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。また、本研究において利用する情報は匿名化されておりますが、情報が当該研究に用いられることについてご本人にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2026年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でもあなたに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学 内分泌・代謝内科

電話：075-251-5505（担当；岡田博史）